

## 20年間

ありがとうございました

矢数浩前市長が、4月22日任期満了により退任されました。

同日午後4時より行われた退任式では、工業団地の誘致、文化センターや庁舎の建設、そして、常陸大宮済生会病院建設時のエピソード等にふれ、長いよううで短い20年だったと振り返りました。

退任式終了後、大勢の職員に見送られ、庁舎を後にされました。



## 退任あいさつ

春暖の候、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、私は、4月22日の任期満了をもちまして、市長を退任することといたしました。

昭和63年4月に大宮町長に就任し、その後、常陸大宮市長として20年間、市民の皆様には、公私共に格別のご支援ご厚情を賜り、職責を果たすことができましたことに対し、衷心より厚く御礼申し上げます。

この20年間は、日本の社会環境は、経済の長引く低迷、少子高齢化の進展・人口減少時代の到来、地域間格差などさまざまな問題を抱える一方、地方自治体をとりまく環境は、地方分権改革、行政改革、市町村合併等急速に変化・変革する激動期にありました。

このような中、行政運営に当たりましては、常に住民の目線で、「いかに住民本位の町政・市政を運営していけばよいのか」を考え、財政運営に意を用いながら、すべて住民の安心、安全、福祉の向上のため、適時適切かつ重要な施策課題を積極的に行ってきたところでございます。

そして、合併いたしましたして、常陸

大宮市長に就任したわけですが、これから当地域をどのように発展させていくか、さらに、すみやかな一体感の醸成をどのように進めていくかを常に考えながら、それぞれの地域の環境、歴史・文化・伝統に触れて、地域の実情を理解しながら、さらに、福祉施策をはじめ、都市基盤・教育環境の整備、農林業振興対策、宮の郷工業団地への積極的な企業誘致等の商工業対策等、数多くの事業を実施し、市の運営に努めてまいりました。

お蔭様で、常陸大宮済生会病院の開院や、市内循環バスの運行開始、さらに市のシンボルとなる花、木、鳥の制定や、常陸大宮市民憲章、そして常陸大宮市各種宣言制定を定め、住民福祉の向上のための各種施策の推進に努めてまいったところでございます。

今後は、一市民といたしまして、常陸大宮市の発展に微力を尽くしてまいる所存でございますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自然環境、伝統文化・芸能など、この恵まれた郷土「常陸大宮」が新市長のもと、穏やかな発展を遂げますことをご期待申し上げますと共に、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。退任のあいさつといたします。



### 大瀧参与退任

大瀧典夫参与が4月22日任期満了により退任されました。